

第 78 期

業 務 報 告 書

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日





基本方針

備北信用金庫は
地元の皆様ならびに
中小企業者の方々の金融機関として
地域社会の発展に寄与する

経営方針

- (1) 中小企業金融の公共性に鑑み、広く地域経済と密着し、その繁栄に奉仕する。
- (2) 経営に創意と総力を結集して、金庫の業容拡大と機能の充実をはかり経営体質の強化に努める。
- (3) 人材の育成をはかり、職員の福利増進と生活水準の向上につとめ希望と活気ある明るい職場づくりに努める。

概要

創立	昭和6年11月2日
本店	岡山県高梁市正宗町1964番地の1
役員数	89名
店舗数	10店舗
会員数	7,733人
出資金	330百万円
預金	125,937百万円
貸出金	47,823百万円

(令和5年3月末現在)

ごあいさつ

向暑の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当金庫に対しましては、平素から格別のご支援とご愛顧を賜り厚くお礼を申し上げます。本年もここに、第78期の事業概況と決算の状況につきまして報告するにあたりご挨拶を申し上げます。

昨年度の我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の社会経済活動の制限が緩和され、個人消費など回復が見られたものの、ロシアによるウクライナ侵攻により国際的な商品・エネルギー価格の高騰、コロナ禍からの経済回復も加わり世界的にインフレが進行しました。経済面においては、欧米諸国は高インフレ、賃金上昇等により政策金利の引上げを続け金利が上昇し、我が国においては金融政策において緩和的な金融政策が続けられていたことから海外との金利差が拡大し大幅な円安が進み、商品、エネルギーに加え、食料品をはじめとした価格の上昇、労働力不足による賃金上昇、コロナ禍からの経済の回復もあり記録的な物価上昇が見られたものの、個人消費や設備投資など経済回復は緩やかなものとなり、金融政策においては、インフレ圧力の緩和から短期金利をマイナス、長期金利をゼロパーセント程度に操作するイールドカーブ・コントロール政策の運用見直し等が行われ、コロナ禍で行われていた緩和的な金融政策から正常化に向けて金融政策の見直しが行われました。

当地域の経済においては、設備の更新、工場の新築など投資に積極的な企業も一部見られ、コロナ禍からの回復もあり消費マインドは回復傾向が伺えますが、少子高齢化・人口減少などの構造的な課題を抱える中、精彩さを欠き、当地域経済の回復は緩やかなものであります。

こうした金融経済環境情勢のもと、信用金庫の原点である「相互扶助」の基本理念に基づき、引き続き新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者や地域への支援を最重要課題として位置づけ、預金面においては、各種預金キャンペーンや「吉備国際大学シャルム岡山高梁応援定期預金」などのキャンペーンを続けるとともに、公金預金においては指定金融機関を継続、低金利環境下における預金滞留もあり預金残高は125,937百万円となり、融資面においては、コロナ禍からの回復に向けた事業者への金融支援に加え、経営改善、事業承継などの課題解決や事業性評価等のコンサルティング機能強化に努め、個人向けにおいては、WEB完結ローンの推進等に取り組み、貸出金残高は47,823百万円となりました。収支面は、未曾有の低金利環境が続く中において効率的な資金運用に努め、厳正な諸償却と引当を行った結果、当期純利益を122百万円計上しました。

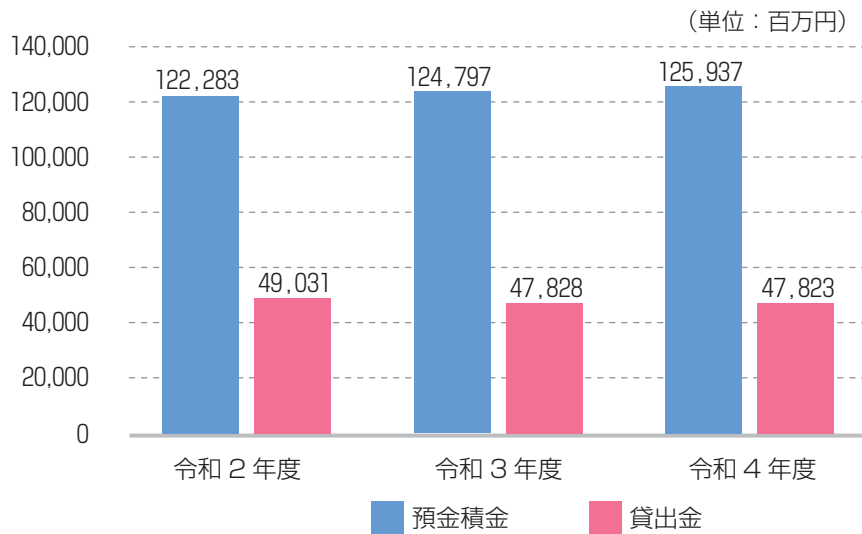
令和5年度の我が国の経済は、ウィズコロナに向けた取組みとインフレ圧力の強まりによる賃金上昇などから経済活動は緩やかに回復し、加えて脱炭素やDX化の流れが進むものと思われま。金庫においては、新たな中期3カ年計画の2年目の年度として、地域の事業者の方々への事業支援等のコンサルティング機能強化に努めるとともに、お客様とのリレーションシップの深化を進め、地域に根差した協同組織金融機関として会員、お客様の課題解決に尽力し、当地域の経済社会の成長に貢献するとともに、法令遵守に徹し堅実経営に努めて参ります。

令和5年6月

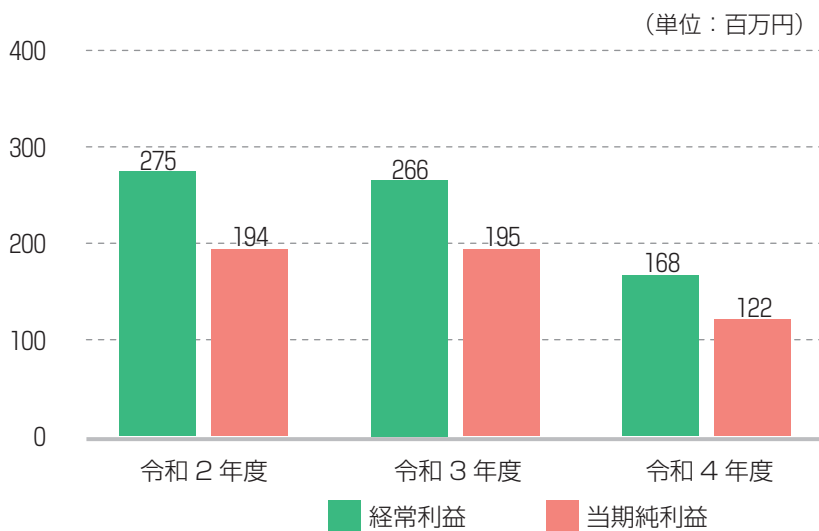
備北信用金庫
理事長 岡田 誠 治

業 績

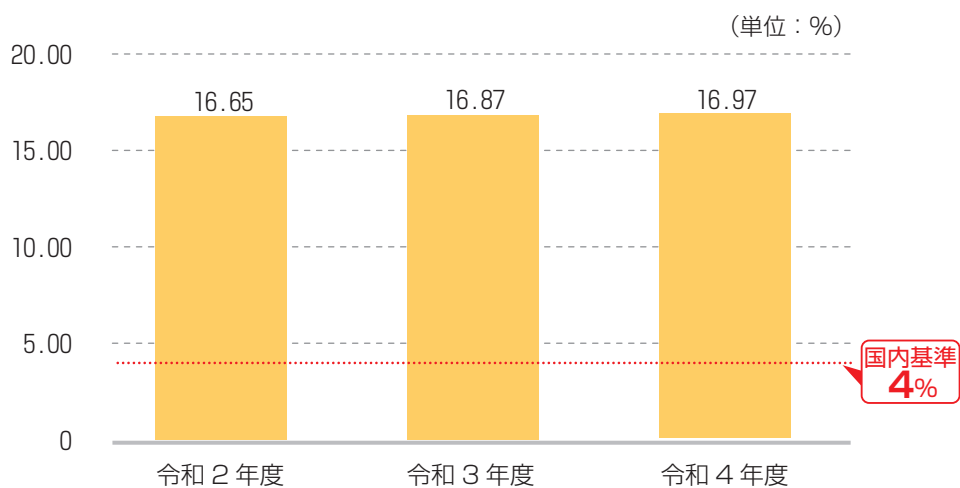
預金積金残高・貸出金残高の推移



経常利益・当期純利益の推移



自己資本比率の状況



リスク管理 債権の状況

信用金庫法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

（単位：百万円、％）

	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	207	355
危険債権	786	756
要管理債権	15	13
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	15	13
小計 (A)	1,009	1,125
保全額 (B)	1,001	1,120
個別貸倒引当金 (C)	359	483
一般貸倒引当金 (D)	2	2
担保・保証等 (E)	639	635
保全率 (B) / (A) (%)	99.25%	99.51%
引当率 ((C)+(D)) / ((A)-(E)) (%)	97.97%	98.89%
正常債権 (F)	47,158	46,964
総与信残高 (A) + (F)	48,167	48,090

(注)

- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
- 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
- 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
- 「個別貸倒引当金」(C)は、貸借対照表上の個別貸倒引当金の額のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の債権額に対して個別に引当計上した額の合計額です。
- 「一般貸倒引当金」(D)には、貸借対照表上の一般貸倒引当金の額のうち、要管理債権の債権額に対して引当てた額を記載しております。
- 「担保・保証等」(E)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
- 「正常債権」(F)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。）です。

貸借対照表

第78期

令和5年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
	千円		千円
現金	1,181,145	預金	125,937,583
預け金	48,894,047	当座預金	1,702,904
買入金銭債権	4,171,004	普通預金	49,154,441
金銭の信託	10	貯蓄預金	11,004
有価証券	32,833,585	通知預金	86,010
国債	506,330	定期預金	67,556,211
地方債	5,671,705	定期積金	6,994,329
社債	20,007,935	その他の預金	432,681
株式	682,747	借 用 金	296,500
その他の証券	5,964,867	借入金	296,500
貸 出 金	47,823,803	そ の 他 負 債	195,781
割引手形	118,733	未決済為替借	16,170
手形貸付	1,814,310	未払費用	19,705
証書貸付	43,679,903	給付補填備金	2,607
当座貸越	2,210,857	未払法人税等	58,310
そ の 他 資 産	715,295	前受収益	6,217
未決済為替貸	6,625	職員預り金	42,590
信金中金出資金	521,200	リース債務	25,494
前払費用	91	その他の負債	24,685
未収収益	184,314	賞 与 引 当 金	30,047
その他の資産	3,063	役員退職慰労引当金	53,559
有 形 固 定 資 産	875,687	債務保証	229,878
建物	164,025	負 債 の 部 合 計	126,743,350
土地	636,510		
リース資産	24,568	(純資産の部)	
その他の有形固定資産	50,584	出 資 金	330,688
無 形 固 定 資 産	4,909	普通出資金	330,688
ソフトウェア	2,727	利 益 剰 余 金	9,429,139
その他の無形固定資産	2,182	利益準備金	331,911
繰 越 税 金 資 産	218,199	その他利益剰余金	9,097,228
前払年金費用	19,621	特別積立金	8,800,000
債務保証見返	229,878	(体質強化積立金)	(1,910,000)
貸倒引当金	△ 569,200	(機械化対応積立金)	(20,000)
(うち 個別貸倒引当金)	(△ 483,070)	当期末処分剰余金	297,228
		会 員 勘 定 合 計	9,759,828
		その他有価証券評価差額金	△ 105,188
		評価・換算差額等合計	△ 105,188
		純 資 産 の 部 合 計	9,654,639
資 産 の 部 合 計	136,397,990	負債及び純資産の部合計	136,397,990

千円未満は切り捨てて表示しております。

損益計算書

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

科 目	金 額	金 額
	千円	千円
経常収益	1,124,422	1,308,946
資金運用収益	727,312	
貸出金利息	67,694	
預け金利息	299,946	
有価証券利息配当金	29,468	
その他の受入利息	124,476	
役務取引等収益	37,385	
受入為替手数料	87,090	
その他の役務取引等収益	26,719	
その他業務収益	16,836	
国債等債券売却益	35	
国債等債券償還益	9,846	
その他の業務収益	33,328	
その他経常収益	31,563	
株式等売却益	1,764	
その他の経常収益		
経常費用	1,140,781	
資金調達費用	32,774	
預金利息	24,589	
給付補填備金繰入額	1,798	
譲渡性預金利息	2	
借入金利息	6,176	
その他の支払利息	206	
役務取引等費用	104,920	
支払為替手数料	12,511	
その他の役務取引等費用	92,409	
その他業務費用	19,043	
国債等債券償還損	9,520	
国債等債券償却	392	
その他の業務費用	9,131	
経費	851,984	
人件費	564,865	
物件費	267,139	
税	19,978	
その他経常費用	132,059	
貸倒引当金繰入額	131,871	
その他の経常費用	187	
経常利益	168,164	168,164
特別損失	0	0
固定資産処分損	0	
税引前当期純利益	168,164	168,164
法人税、住民税及び事業税	60,796	
法人税等調整額	△14,990	
法人税等合計		45,806
当期純利益		122,358
繰越金(当期首残高)		174,870
当期末処分剰余金		297,228

千円未満は切り捨てて表示しております。

第78期 剰余金処分

当期末処分剰余金 297,228,406円

これを下記のように処分します。

剰余金処分額	109,920,205円
普通出資に対する配当金(年3%)	9,920,205
特別積立金	100,000,000
(うち体質強化積立金)	50,000,000)
繰越金(当期末残高)	187,308,201

上記のとおりであります。

令和5年6月

備北信用金庫

理事長 岡田 誠 治	理事 柴 倉 清
常務理事 金 地 正 晴	理事 中 村 浩 巳
常務理事 福 本 智 之	理事 宮 崎 和 司
常勤理事 河 野 訓 秀	理事 磯 村 尚 子
常勤理事 永 田 尚 則	

前記各項を監査の結果、その正確なことを認めます。

常勤監事 西 井 孝 行	監 事 大 森 國 正
監 事 永 井 芳 郎	

尚、有限責任監査法人トーマツによる監査の結果、適法と認められております。

(注) 監事 永井芳郎は、信用金庫法第32条第5項に規定する員外監事です。

令和4年度

- 4月 ・「経営デザインシート」発表会を開催
 - ・落合ふれあい公園祭りにボランティアとして参加
- 5月 ・第60回岡山県信用金庫野球大会を成羽運動公園で開催
- 6月 ・「信用金庫の日」のボランティア実施（各営業店で清掃活動等を実施）
 - ・「信用金庫の日」各営業店で絵画展などのイベントを開催、来店者には記念品を贈呈
 - ・第77期通常総代会を開催
 - ・第九代理事長 岡田 誠治 就任（6月21日）
 - ・第34回理事長杯ゲートボール大会を開催（新見市憩いとふれあいの公園）
 - ・びしん経営者クラブオンラインセミナー（電子帳票保存法、インボイス制度）
- 7月 ・第1回備北信用金庫理事長杯学童軟式野球大会を開催（成羽運動公園）
 - ・「吉備国際大学シャルム岡山高梁」に対しチーム強化支援金を贈呈
 - ・「備中たかはし松山踊りうちわ」感謝状授与式及び贈呈式
- 8月 ・「おかやまプレミアム付食事券」を販売
- 9月 ・第16回岡山県しんきん合同ビジネス交流会を開催（コンベックス岡山）
- 10月 ・「ヒルクライム高梁吹屋ふるさとむら大会」にボランティアとして参加
- 11月 ・高梁中学生職場体験（本店）
 - ・高梁地区総代協議会
 - ・高梁川流域4信金合同で「脱炭素社会に向けた経営支援セミナー」を開催
 - ・新見地区総代協議会
 - ・備中松山城の清掃ボランティア活動を実施
 - ・高梁市と地方創生に係る包括連携協定を締結
- 2月 ・高梁市に「SCB ふるさと応援団」の寄付金を贈呈
 - ・「愛らぶ高梁ふれあいマラソン」にボランティアとして参加しポップコーンを提供
- 3月 ・「吉備国際大学シャルム岡山高梁」応援定期預金を販売
 - ・健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）認定
 - ・地区内の新入学児童に対し学用品をプレゼント



店舗一覧

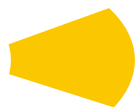
店舗名	住所・電話番号	ATM利用時間
本店	〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1 TEL (0866) 22-2191	平日 8:45~19:00 土日祝 8:45~19:00
事務センター	〒716-0037 高梁市正宗町1967番地の7 TEL (0866) 22-2192	
成羽支店	〒716-0111 高梁市成羽町下原963番地の2 TEL (0866) 42-2644	平日 8:45~19:00 土日祝 8:45~19:00
下町支店	〒716-0022 高梁市下町23番地 TEL (0866) 22-2376	平日 8:45~18:00 土日祝 —
賀陽支店	〒716-1122 加賀郡吉備中央町竹荘486番地の2 TEL (0866) 54-1335	平日 8:45~19:00 土日祝 8:45~19:00
北房支店	〒716-1411 真庭市上水田2998番地の3 TEL (0866) 52-3151	平日 8:45~18:00 土日祝 —
落合支店	〒716-0061 高梁市落合町阿部1282番地の3 TEL (0866) 22-1500	平日 8:45~18:00 土日祝 —
新見営業部	〒718-0003 新見市高尾2482番地の1 TEL (0867) 72-4411	平日 8:45~19:00 土日祝 8:45~19:00
中央支店	〒718-0011 新見市新見866番地の1 TEL (0867) 72-2160	平日 8:45~18:00 土日祝 —
正田支店	〒718-0013 新見市正田257番地の11 TEL (0867) 72-0724	平日 8:45~19:00 土日祝 8:45~19:00
大佐支店	〒719-3503 新見市大佐小阪部1501番地の2 TEL (0867) 98-2878	平日 8:45~18:00 土日祝 —

店舗外ATMコーナー

所在地	ATM利用時間
ポルカ天満屋ハピータウン	平日 10:00~20:00 土日祝 10:00~19:00
イズミゆめタウン 高梁店	平日 9:30~20:00 土日祝 9:30~19:00
吉備国際大学	平日 9:00~17:00 土日祝 —
新見市役所	平日 9:00~17:00 土日祝 —
高梁市役所(共同設置)	平日 9:00~18:00 土日祝 —



備北信用金庫 ケイエール



ケイエール 1 の特徴

資金繰り管理をわかりやすく簡単にしたい。

複数口座をまとめて一括管理。
信用金庫とも共有可能で
お金周りのコミュニケーションが円滑化。

- 複数の銀行口座をまとめてどこでも管理できる
- 資金繰り表を自動で簡単に作成可能



ケイエール 2 の特徴

バックオフィス業務を効率化したい。

電子請求書対応やペーパーレス化は
もちろん、バックオフィスサービスも
ワンストップで提供。

デジタル化の制度改正にこれ一つで対応
電子帳簿保存法・インボイス制度に対応



ケイエール 3 の特徴

デジタル化に着手したいが、
何から始めていいかわからない。

相談窓口が貴社に最適な
デジタルサービスをご提案。

- 経営者相談窓口が貴社の抱える課題の解決策をご提案
- デジタル化以外の幅広いニーズにも対応

